

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
 コード番号 4927 URL <http://www.po-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 郷史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 久米 直喜

TEL 03-3563-5517

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	137,346	5.9	9,809	22.4	10,852	28.8	4,905	33.0
24年12月期第3四半期	129,724	8.2	8,013	△8.8	8,425	△7.5	3,687	△32.7

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 6,992百万円 (83.5%) 24年12月期第3四半期 3,811百万円 (△17.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	88.73	88.67
24年12月期第3四半期	66.70	66.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	211,308	169,645	80.0	3,058.18
24年12月期	209,140	164,896	78.8	2,980.48

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 169,068百万円 24年12月期 164,773百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
25年12月期	—	25.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,500	4.2	16,000	18.3	16,300	11.6	8,200	22.7	148.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 、除外 1社 (社名) CSW H2O holdings, Inc.
(注) 詳細は、添付資料6ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料6ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	57,284,039 株	24年12月期	57,284,039 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	2,000,000 株	24年12月期	2,000,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	55,284,039 株	24年12月期3Q	55,284,039 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年9月30日）におけるわが国の経済は、経済政策や金融政策による円安・株高が、消費マインドへ影響し、個人消費が持ち直し傾向にある等、欧州財政危機に端を発した景気の後退局面から、緩やかに回復しつつあります。今後は、海外景気の下振れが国内景気に対してマイナスとなるリスクは残るものの、円安を背景とする輸出環境の一段の改善や各種政策の効果等により、国内の景気回復の動きが確かなものとなることが期待されます。

国内化粧品市場においては、日本経済全体の持ち直し基調を受け、市場全体としても堅調に推移しております。海外化粧品市場においては、中国、インドでの個人消費の減速が見受けられるものの、アジア地域全体は緩やかに成長を維持しております。

このような市場環境のもと、平成23年からスタートした3ヶ年中期経営計画の最終年となる今年度も、引き続き国内基幹ブランドの収益力向上と育成ブランドの拡大を図るとともに、買収した海外2社を主軸とした海外市場への展開を継続して進めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、昨年2月にグループ入りしたJurliqueブランドが、本年は1月から連結対象となったことに加え、アジア地域での成長や為替の影響により前年同期比5.9%増の137,346百万円となりました。営業利益はジュリーク買収に伴う一時費用の解消や販売費及び一般管理費の効率化により、前年同期比22.4%増の9,809百万円、経常利益は円安に伴う為替差益の計上により、前年同期比28.8%増の10,852百万円となりました。四半期純利益は、POLAブランドのアメリカ事業撤退に伴う事業整理損や静岡工場の統合に伴う事業構造改善費用は発生したものの、これによる税金費用の減少により、前年同期比33.0%増の4,905百万円となりました。

[業績の概要]

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	129,724	137,346	7,621	5.9
営業利益	8,013	9,809	1,796	22.4
経常利益	8,425	10,852	2,426	28.8
四半期純利益	3,687	4,905	1,218	33.0

[セグメント別の業績]

売上高 (外部顧客への売上高)

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	120,847	127,720	6,872	5.7
不動産事業	2,143	2,266	122	5.7
その他	6,732	7,359	627	9.3
合計	129,724	137,346	7,621	5.9

セグメント利益 (営業利益)

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	6,687	8,676	1,989	29.7
不動産事業	917	1,011	93	10.2
その他	214	351	137	63.9
セグメント利益の調整額 (注)	193	△229	△423	—
合計	8,013	9,809	1,796	22.4

(注) セグメント利益の調整額とは、グループの内部取引に伴う利益及びセグメントに含まれない経費などを連結時に消去・加算した金額であります。なお、セグメント利益の調整額の詳細につきましては、P.11~12「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (注2)」をご覧ください。

(ビューティケア事業)

ビューティケア事業は、基幹ブランドとして「POLA」「ORBIS」を、育成ブランドとして「pdc」「FUTURE LABO」「ORLANE」「decencia」「THREE」を、海外ブランドとして「Jurlique」「H2O PLUS」を展開しております。

POLAブランドでは、エステ併設型集客店舗「ポーラザビューティ」や百貨店への積極展開、訪問販売組織の拡大による顧客接点の拡充や、販売品質やカウンセリング技術の更なる向上等、お客さま満足の上に向けた取り組みを行っております。国内市場においては、9月には最高峰ブランド「B.A」より、年齢に抗うのではなく活かすという進化したエイジングケアを提案する「B.A グランラグゼII」を発売しました。海外市場においては、重点市場のロシアにて取扱店が引き続き順調に拡大しており、もう一つの重点市場である中国では百貨店事業が堅調に成長しております。その結果、POLAブランドは前年同期を上回る売上高となりました。

ORBISブランドでは、お客さまの継続購入率向上への取組みやスキンケア商品の充実、ネット通販の強化等によりブランド再構築を行い、更なる収益性向上に取り組んでおります。国内市場においては、UVケア品など季節性商品の好調によりお客さま購入点数が伸び、購入単価が前年同期を上回りましたが、ブランド再構築の一環としての値引き抑制により一時的にお客さまの獲得数が減少しております。利益面では、昨年下半年に実施した物流センター2拠点化等の物流再構築による費用効率化の効果も現れております。また、8月には「日本最大級の顧客満足度調査」で、通信販売業界において3年連続第1位を獲得することができました。海外市場においては、引き続きブ

ランド認知拡大に向けた取り組みを行っております。7月にはASEANでの成長加速を図るため、戦略拠点となるシンガポールに現地法人を設立しました。その結果、ORBISブランドは前年同期並みの売上高となりました。

育成ブランドについては、THREEブランドやpdcブランド、decenciaブランドの好調な販売の結果、前年同期を上回る売上高となりました。

海外ブランドについては、昨年2月にグループ入りしたJurliqueブランドが本年は1月から連結対象となったことに加え、4月にH2O PLUSブランドが中国において事業成長加速を狙いとした合弁会社を設立するなど、アジア地域での成長と、為替による影響を受け、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は127,720百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は8,676百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

（不動産事業）

不動産事業では、都市部のオフィスビル賃貸を中心に、魅力的なオフィス環境の整備による賃料の維持向上と空室率の低下に取り組むとともに、子育て支援に特化した新しいモデルとなる賃貸マンション事業も展開しております。当第3四半期連結累計期間は、賃料維持やテナント誘致に向けた営業努力により、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は2,266百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は1,011百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

（その他）

その他に含まれている事業は、医薬品事業及びビルメンテナンス事業であります。

医薬品事業では、化粧品や医薬部外品研究で培ってきた当社グループの研究成果を活用し、新薬開発及び販売を行っております。これまでに新薬として外用抗真菌剤「ルリコン」と更年期障害治療薬「ディビゲル」の2品を上市したほか、緩下剤「アローゼン」や皮膚科関連等の医療用医薬品を全国の大学病院をはじめとする医療機関に提供しております。当第3四半期連結累計期間においては、重点領域である皮膚科領域にリソースを集中した継続的な活動により、「ルリコン」は新剤形発売も寄与して市場シェア拡大を続け、皮膚科医療用医薬品も伸張し、前年同期を上回る売上高となりました。

ビルメンテナンス事業は、当社グループ会社を主な取引先としております。当第3四半期連結累計期間においては、当社グループ以外の受注を拡大すべく、新規取引先との成約に向けた営業活動を展開しましたが、受注単価の下落により、前年同期を下回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は7,359百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は351百万円（前年同期比63.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,167百万円増加し、211,308百万円（前連結会計年度末比1.0%増）となりました。主な増減項目は、現金及び預金の増加3,341百万円、商品及び製品の増加1,735百万円、アメリカ事業撤退に伴う短期繰延税金資産等の計上による流動資産「その他」の増加1,977百万円、並びに戸塚倉庫の竣工による建物及び構築物の増加888百万円により増加し、一方で受取手形及び売掛金の減少1,859百万円、償還による有価証券の減少1,788百万円並びに投資有価証券の減少2,904百万円により減少しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,582百万円減少し、41,662百万円（前連結会計年度末比5.8%減）となりました。主な増減項目は、仕入増加に伴う支払手形及び買掛金の増加961百万円、及び賞与引当金の増加1,065百万円により増加し、一方で未払法人税等の減少3,854百万円、及び販売手数料未払金の減少等による流動負債「その他」の減少1,170百万円により減少しております。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4,749百万円増加し、169,645百万円（前連結会計年度末比2.9%増）となりました。主な増減項目は、四半期純利益の計上4,905百万円、及び円安の影響による為替換算調整勘定の増加1,749百万円により増加し、一方で剰余金の配当2,764百万円により減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成25年7月30日に発表しました業績予想に変更はありません。

(参考情報)

前期累計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売 上 高	百万円 38,945	百万円 86,407	百万円 129,724	百万円 180,873
営 業 利 益	1,225	5,652	8,013	13,520
経 常 利 益	1,580	6,008	8,425	14,604
四半期純利益	721	2,785	3,687	6,681

前期会計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売 上 高	百万円 38,945	百万円 47,461	百万円 43,316	百万円 51,149
営 業 利 益	1,225	4,426	2,360	5,506
経 常 利 益	1,580	4,427	2,417	6,178
四半期純利益	721	2,063	902	2,994

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、CSW H20 Holdings, Inc. は、当社の連結子会社であるH20 PLUS HOLDINGS, INC. との合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,551	25,893
受取手形及び売掛金	22,684	20,825
有価証券	19,801	18,013
商品及び製品	10,883	12,619
仕掛品	1,493	1,853
原材料及び貯蔵品	4,901	4,906
その他	6,653	8,630
貸倒引当金	△125	△104
流動資産合計	88,844	92,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,248	18,136
土地	22,448	22,379
その他(純額)	15,711	16,215
有形固定資産合計	55,408	56,732
無形固定資産		
のれん	18,256	18,166
商標権	11,841	12,275
その他	9,579	9,566
無形固定資産合計	39,677	40,008
投資その他の資産		
投資有価証券	18,572	15,667
その他	6,801	6,436
貸倒引当金	△163	△174
投資その他の資産合計	25,209	21,930
固定資産合計	120,296	118,670
資産合計	209,140	211,308

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,630	4,592
短期借入金	1,733	1,145
未払法人税等	6,282	2,428
賞与引当金	1,504	2,569
その他	17,935	16,765
流動負債合計	31,086	27,501
固定負債		
長期借入金	—	1,000
退職給付引当金	6,394	6,049
その他	6,763	7,111
固定負債合計	13,157	14,160
負債合計	44,244	41,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	90,718	90,718
利益剰余金	63,386	65,527
自己株式	△2,199	△2,199
株主資本合計	161,905	164,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	331	736
為替換算調整勘定	2,535	4,285
その他の包括利益累計額合計	2,867	5,021
新株予約権	40	78
少数株主持分	82	498
純資産合計	164,896	169,645
負債純資産合計	209,140	211,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	129,724	137,346
売上原価	26,449	27,536
売上総利益	103,274	109,810
販売費及び一般管理費		
販売手数料	32,502	33,559
販売促進費	12,947	13,715
広告宣伝費	5,459	5,413
給料手当及び賞与	14,239	15,408
賞与引当金繰入額	2,069	2,209
ポイント引当金繰入額	1,313	1,446
その他	26,727	28,247
販売費及び一般管理費合計	95,261	100,000
営業利益	8,013	9,809
営業外収益		
受取利息	357	315
受取配当金	20	24
為替差益	3	631
その他	138	155
営業外収益合計	520	1,126
営業外費用		
支払利息	49	59
持分法による投資損失	33	2
その他	24	21
営業外費用合計	108	83
経常利益	8,425	10,852
特別利益		
固定資産売却益	3	319
役員退職慰労引当金戻入額	119	—
その他	12	1
特別利益合計	134	321
特別損失		
固定資産除却損	150	158
事業整理損	—	1,026
事業構造改善費用	—	894
その他	27	21
特別損失合計	177	2,099
税金等調整前四半期純利益	8,382	9,073
法人税、住民税及び事業税	5,071	5,645
法人税等調整額	△361	△1,404
法人税等合計	4,709	4,241
少数株主損益調整前四半期純利益	3,672	4,832
少数株主損失(△)	△14	△72
四半期純利益	3,687	4,905

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,672	4,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	404
繰延ヘッジ損益	△9	—
為替換算調整勘定	52	1,749
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	6
その他の包括利益合計	139	2,160
四半期包括利益	3,811	6,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,823	7,059
少数株主に係る四半期包括利益	△12	△67

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	120,847	2,143	122,991	6,732	129,724	—	129,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58	471	530	2,257	2,788	△2,788	—
計	120,906	2,615	123,522	8,990	132,512	△2,788	129,724
セグメント利益	6,687	917	7,604	214	7,819	193	8,013

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額193百万円には、セグメント間取引消去1,796百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,602百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は以下のとおりであります。

「ビューティケア事業」セグメントにおいて、Pola Orbis Jurlique Holdings Pty Ltd 及び Pola Orbis Jurlique Pty Ltd を新たに設立したこと並びに、Jurlique International Pty Ltd の株式を取得し同社及びその子会社11社を連結子会社としたこと等により、セグメント資産が30,875百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「ビューティケア事業」セグメントにおいて、平成24年2月3日付でJurlique International Pty Ltdの全株式を取得し、同社及びその子会社11社を連結子会社としたことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては13,323百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	127,720	2,266	129,986	7,359	137,346	—	137,346
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59	492	551	2,430	2,982	△2,982	—
計	127,779	2,758	130,538	9,790	140,328	△2,982	137,346
セグメント利益	8,676	1,011	9,687	351	10,039	△229	9,809

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△229百万円には、セグメント間取引消去1,457百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,687百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。